

地域ぐるみの家庭教育支援～心豊かでたくましい子どもを地域ぐるみで育てるために～

(「審議のまとめ」概要)

テーマ

身近な人から子育てを学ぶ機会の減少や地域のつながりの希薄化など家庭教育を支える環境が大きく変化している中、心豊かでたくましい子どもを地域ぐるみで育てるために、これから親になる世代、子育て世代、シニア世代など各期における学びと地域ぐるみの支援の内容・在り方はどうあればよいか。

1 家庭教育をめぐる現状と課題

(1) 家族や職業のあり様や地域の人間関係の変化

- ・ 子どもが家庭に生まれて、親と子の中で、また地域や社会との間で、様々な関わりを持ちながら成長していくことが、ごく自然に行われることが難しくなっている。
- ・ 子育てに不安や悩みを抱えながらも、適切な支援を得られない。

(2) 家庭教育が困難な家庭の増加

- ・ 経済的な問題や生活のストレス等から家庭生活に余裕がなく、子育てを放棄する親や社会性、道徳性に欠ける親の増加など、家庭教育を行うことが極めて困難になっている。
- ・ 学習機会があっても、「仕事が忙しく、学習や交流の場に参加できない保護者」や「親としての学びの必要性が高いと思われるにもかかわらず関心が低く参加しない保護者」がいる。

2 今後の家庭教育支援の在り方（方向性）

- (1) 本県には、「人の子も我が子も地域の子」という言葉があるように、子どもを地域で育てる風土が、まだ現在でも残っている。その気運を醸成し、地域ぐるみで家庭教育を支援していくことは大変重要なことであるとする。
- (2) 家庭教育を支援していく上で、子育て世代だけでなく、中・高校生や大学生など「これから親になる世代」や子育て世代以降の人たちの「シニア世代」の家庭教育に関する学習を整理することは、今後の家庭教育支援の推進の礎となると考える。



方向性

- (1) 「これから親になる世代」、「子育て世代」、「シニア世代」各期における子育てに関する学習内容の明確化
- (2) 学校、地域（公民館、社会教育関係団体、NPO、企業等）、行政における地域ぐるみの家庭教育支援のための取組

※ 家庭教育支援については、地域住民にとって、より身近にある市町村や社会教育関係団体等の取組が重要になる。この提言を今後の取組の参考にして、充実を図っていただきたい。

3 地域ぐるみの家庭教育支援の提言

(1) これから親になる世代

学んでほしいこと

1 家庭の役割

- ・ 家庭は、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいによって、豊かな人間性を培うところであること
- ・ 家庭は、地域・社会とつながっていること

2 子どもを育てることの喜びと責任

- ・ 子どもを育てることの素晴らしさや喜び、子どもはかけがえのないものだ実感すること
- ・ 子どもを育てることは、自立した親としての責任と生活していく上で経済的基盤が必要であること

3 育てられる人から育てる人への成長

- ・ 「人を育てる人」として、子どもを育てるために必要な知識や技能を習得しながら、自分も育っていくこと

地域ぐるみの支援のために

【学校への提言】

1 学校教育活動の充実

- ・ 家庭の役割や家族を思いやることの大切さなど、授業や学校生活をおおしての学習
- ・ 人間尊重の精神を基盤とし、発達段階に応じた性に関する指導の充実
- ・ 生徒が、乳幼児とふれあい、交流する場の積極的な設定
- ・ 集団の中での自治的・自主的な活動をおおして、自ら気づき、考え、正しく行動できる生徒の育成

【地域(公民館・社会教育関係団体・NPO・企業等)への提言】

1 交流の場の設定

- ・ 伝統文化の継承や地域活動など、これから親になる世代と乳幼児や小学生が集い、ふれあう場の積極的な設定

【行政への提言】

1 各種行事・研修会の工夫・改善

- ・ これから親になる世代が参加する行事・学習会等に、自分や周りの人を大切にすること等を学ぶ機会の設定
- ・ これから親になる世代が子どもの個性を理解し、発達段階や子どもの特性に応じた親の関わり方を学ぶ機会の設定

2 学んだことの実践の場の設定

- ・ これから親になる世代が自分の学んだことを、ボランティア活動などとして生かすことのできる実践の場の設定

(3) シニア世代

学んでほしいこと

1 時代の変化に対応した家庭教育支援

- ・ 子育ての現状や課題、時代の変化に対応した家庭教育支援の在り方
- ・ これまでの経験が今後の家庭教育支援に生かされ、生きがいにつながる

2 現代の子どもたちの特徴

- ・ ゲームやインターネット等のバーチャルな世界に浸ることが多いことやスマートフォンなどのツールに依存した人間関係であることなど、現代の子どもの特徴

3 子どもたちへの接し方

- ・ コミュニケーションの取り方やしつけやマナー、ほめ方・叱り方など、子どもたちとの接し方

地域ぐるみの支援のために

【学校への提言】

1 学校教育活動におけるシニア世代との交流

- ・ 保護者参観日や県民週間等を利用した、高齢者が参加できる機会の設定

2 シニア世代への情報発信

- ・ 学校便りや公民館行事、高齢者大学等を利用した、シニア世代への子どもたちの様子の情報発信

【地域(公民館・社会教育関係団体・NPO・企業等)への提言】

1 親子や高齢者が集い、ふれあう場の設定

- ・ 伝統文化の継承や地域活動など地域の高齢者から学ぶ場や交流できる機会の設定

2 地域の環境づくり

- ・ シニア世代が地域の子育て世代に対して、気軽に声をかけられるような環境づくり

【行政への提言】

1 家庭教育支援に関する学習の場の設定

- ・ 高齢者大学、公民館講座等において、子育て支援や青少年の育成等について学習する機会の設定

2 相談できる人材の活用

- ・ 高齢者が持つ育児やしつけなどの経験を生かし、保護者が公民館等の身近な場所で気軽に相談できるような体制づくり

3 子育て支援に関わる場の設定

- ・ 高齢者が、学習や体験活動、スポーツ活動、文化活動、異世代交流等の様々な活動の指導者等として、子育て支援に関わる場の設定

(2) 子育て世代

学んでほしいこと

1 子育て支援の取組や体制

- ・ 子育てに対する悩みや不安はあって当たり前だということと、そのための相談の窓口や支援体制等があること

2 子どもを理解することや必要なものを身に付けさせることの大切さ

- ・ 子どもの自立心を育成するために、子どもの成長に合わせて身に付けさせたい基本的生活習慣
- ・ いじめや不登校等の問題への対応の仕方
- ・ 情報モラルや消費生活に関する問題等の現代的課題への対応の仕方
- ・ 子どもの個性の理解、発達課題や子どもの特性に応じた親の関わり方

3 子どもに思いやりやがまんする心を育てることの大切さ

- ・ 周りの人々とのよりよい関わり方、助け合いながら生活することのよさ

4 親子がふれあうことの大切さ

- ・ ふれあうことの喜びと子どもの成長を実感するための親子での体験活動

地域ぐるみの支援のために

【学校への提言】

1 PTAや家庭教育学級の充実

- ・ 学級PTA等における家庭教育に関する学びの場の工夫と現代的課題に対応した内容等の充実

2 家庭教育に関する情報発信

- ・ 家庭教育のヒントや親になるための学びの重要性について、各種たよりやホームページ等を通じた保護者への情報発信

【地域(公民館・社会教育関係団体・NPO・企業等)への提言】

1 親子や地域住民が集い、ふれあう機会の設定

- ・ 伝統文化の継承や地域活動など、親子や地域住民が集い、ふれあう機会や体験活動の場の積極的な設定

2 子育てサロン等の集う場の提供

- ・ 親子が他の子育て家庭や地域と、関わりや交流を持てるような集い・語らいの場の提供

3 学習に参加しやすい環境づくり

- ・ 子育て世代が様々な学習等に参加しやすい環境づくりを地域ぐるみでサポートする体制づくり

【行政への提言】

1 多様な場を活用した学習機会の設定や学習プログラムの開発・推進

- ・ 乳幼児健診や就学時健診等を活用した、子どもの特性、発達段階に応じた子育て講座等の実施や相談コーナーの設置
- ・ 家庭教育に関する学習プログラムの開発と積極的な推進

2 人材養成と研修の充実

- ・ 子育て世代が身近に相談できる人材や学習プログラムを推進する人材の養成とスキルアップのための研修の充実

【学校、地域、行政等相互に連携した取組への提言】

1 地域の人材のネットワーク構築

- ・ 学校応援団等の機能を活用した人材や協力団体リストの整理と家庭教育の支援
- ・ 教育・福祉・医療をはじめ、関係機関、団体等と連携し、課題を抱えている家庭や困っている家庭への支援の充実
- ・ 課題を抱えている家庭の相談(窓口)や不登校等児童生徒の受け皿等の情報提供